



ダンボールコンポスト よくある質問



コンポスト内の温度が上がりにません

温度が上がりに始めるのにしばらく日数（2週間ほど）がかかります。
野菜くずの生ごみばかりだと温度が上昇しません（20～30℃ぐらい）が、そのぶん臭気は少ないです。温度は投入した生ごみの種類・水分・量によって日々上下しますし、季節によっても違いがありますが、20℃～30℃ぐらいでも微生物は分解してくれます。
生ごみの臭気が感じられなければOKと気楽に思ってください。
好気性の発酵分解なので、堆肥床はよくかき混ぜて空気がまんべんなく行き渡るようにしましょう。

コンポスト内の温度を上げるコツは？

- ①水分が不足すると微生物が分解できません。常に湿り気のある状態を維持して下さい。
- ②野菜くず、果物の皮、茶殻ぐらいだけはカロリーが足りず温度が上がりにくいです。カロリーの高いもの（炭水化物・糖分・油分など）を入れると温度が上がりに発酵が進みます。米ぬかを定期的に撒くのも効果があります。廃食油を少しずつ入れるのも効果的です。
- ③外気温が低くなってきたら日当たりの良い軒先あたりに設置して見て下さい。
- ④ペットボトルにお湯を入れ、コンポスト内に埋めるという方法もあります。

コバエや虫が発生します

- ①虫の進入によって卵が産み付けられます。きちんとふたをして下さい。
- ②表面に石灰窒素を少量、撒いてみてください。入れすぎるとアンモニアが発生して悪臭がしますし、土に戻した時にアルカリ化する可能性もありますので、生ごみ1kg当たり石灰2～3gまでとしてください。
- ③粉石けん（合成洗剤ではないもの）を少量撒くのも効果があるようです。
- ④生ごみの割合が多いと虫が発生しやすくなります。くん炭・ピートモスを追加して下さい。
- ⑤あまり大量に発生したら、そこで中止して土に戻し、新たにコンポストをセットして下さい。

生ごみには塩分が多いから、堆肥には向かないという人がいますが…

生ごみが堆肥になっても塩分は分解されず残ります。しかし、事業系・外食系の偏った生ごみに比べ、家庭内から出る生ごみの塩分程度は問題ありません。土に戻した際も雨や水分が地下へ洗い落としてくれます。しかしあまり塩分の強いもの（味噌・漬物・佃煮など）の投入は避けて下さい。

ダンボールコンポストは完熟堆肥ですか？

3ヶ月ほど生ごみを投入し続けたダンボールコンポストはまだ完熟堆肥ではありません。
穴を掘って堆肥を入れ、その上に草や枯葉などをかぶせて3～4週間おいた後、土に鋤き込んで下さい。

どうも長続きしません

手軽で簡単なコンポストですが、忙しくてどうしても手がまわらない時は休んでもかまいません。無理をせずできる範囲で、また再スタートするくらいに気長にやりましょう。できた生ごみの利用場所も確保しましょう。（市民農園を借りる、公共花壇に入れるなど）
情報交換や交流の場を設け、相談できる仲間づくりをすることも長続きの秘訣です。

体験者のアイデア・工夫あれこれ

- ・ダンボールのふたをきっちり閉めれば虫は湧かない。
- ・粉石けんを表面にかけるとウジ虫は増えない。
- ・2週間に1度くらい米ぬかを入れると、湯気が立ち上がるほど温度が上昇した。
- ・天ぷら廃油を入れると温度は上昇したが、黒く固まって混ぜるのに苦労した。
- ・生ごみを細かくするには剪定バサミを使うと便利。
- ・ぬか床のように毎日底からかき回している。
- ・雨の日には室内に入れて、ダンボールの湿気を少なくした。
- ・1ヶ月半後にダンボールに穴が開き始めたので箱を交換した。
- ・ダンボールコンポストを同時に2個使用し、調整しながら行っている。
- ・毎日手間をかけて世話をすると、愛情がわき可愛い気がしてきた。